

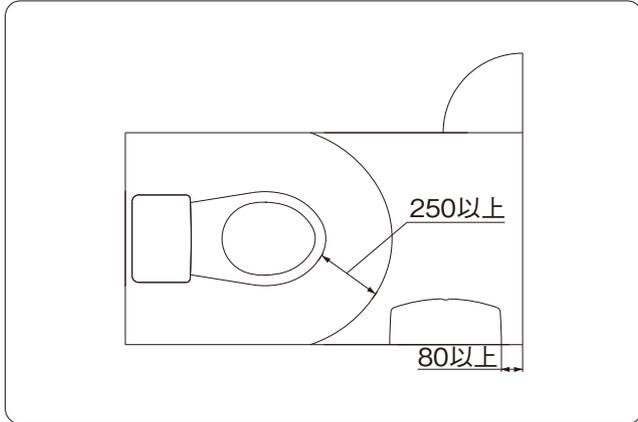
トラップカバー

トイレ

事前施工情報

1. 設置寸法について

- 便器より250mm以上離れた場所への設置をおすすめします。
- コーナ壁、三方壁に設置する場合は、両側面に80mm以上のクリアランスをとってください。カバー取り付けに支障をきたすことがあります。



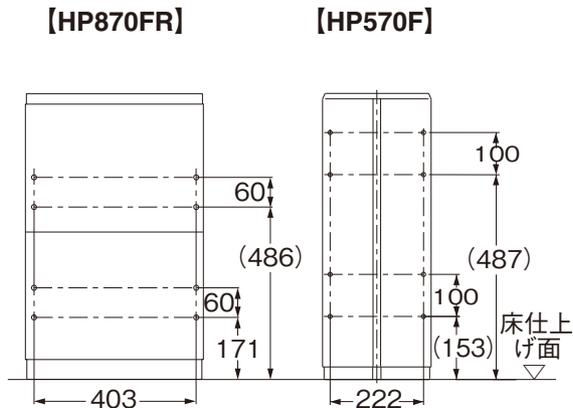
手洗器

トラップカバー

2. 事前工事について

- トラップカバーの木ねじ固定部には必ず補強板（厚み12mm以上）を入れてください。

トラップカバー壁固定位置



※図はトラップカバー本体を示しています。

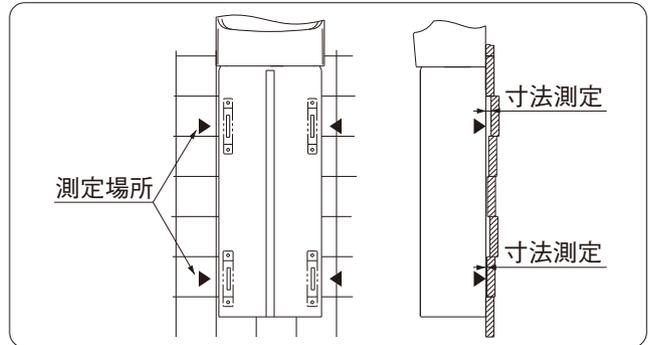
※()寸法は施工誤差等により変動します。

※HP870FRは上カバーの(上)と(下)を逆に取り付けると全体の色調が合いません。

必ずご確認ください。

- 給水管、排水管、電気温水器は所定の位置に必ず取り出してください。取出位置が指定公差（標準取付位置±10mm）を外れるとトラップカバーが取り付けられないことがあります。
- 固定部壁面の凹凸測定をしてください。±5mm以上の凹凸があるとトラップカバーが取り付けられないことがあります。

- 左記トラップカバーは、それぞれL870・L570専用で、高さ調整の切断等を想定した設計になっていないため切断等の加工はできません。



3. 幅木について

- 幅木のサイズに合わせてトラップカバーの下端に設けてある溝をカッターなどで切り落としてください。カバーの切り落としが可能な範囲は幅20mm、高さ50mmまでです。（幅木 奥行き20mm×高さ100mmまで対応できます。）
- ※電気温水器付タイプの場合は電気温水器部分のみ幅木を切り落としてください。